



## 2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社グリッド 上場取引所 東  
コード番号 5582 URL <https://gridpredict.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我部 完  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 小林 剛 (TEL) 03(5468)8800  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年6月期第1四半期の業績 (2024年7月1日～2024年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	448	99.2	39	—	39	—	24	—
2024年6月期第1四半期	225	—	△93	—	△114	—	△120	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	5.22	4.69
2024年6月期第1四半期	△26.43	—

(注) 1. 2024年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、2023年6月期第1四半期の四半期財務諸表を作成していないため記載しておりません。

2. 2024年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	4,025	3,663	91.0
2024年6月期	4,101	3,638	88.7

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 3,662百万円 2024年6月期 3,636百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年6月期の業績予想 (2024年7月1日～2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	33.2	400	9.4	410	19.2	270	△33.1	56.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年6月期1Q	4,726,389株	2024年6月期	4,720,947株
2025年6月期1Q	85株	2024年6月期	41株
2025年6月期1Q	4,723,513株	2024年6月期1Q	4,557,323株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、一部に弱い動きがみられたものの、緩やかに回復してきました。また、世界的にはインフレが落ち着きを見せ利下げが行われる中、日銀は利上げに踏み切り円高が進行する一方で、エネルギー価格を取り巻く環境の混迷からエネルギー価格は高止まり、先行きの不透明な状況が続きました。

エネルギー価格の変動の影響を大きく受ける電力に関しては、EVの普及やIT機器の利活用等により今後も旺盛な需要が続くと見込まれ、一層の安定的かつ経済的な供給体制が求められています。昨今は生成AIの需要の高まりに伴い、大規模な電力消費を伴うデータセンターの設置や増強が加速しております。また、大量のデータを必要とする社会全体のデジタル化に伴い、製造に膨大な電力を必要とする半導体の需要も急速に増加しております。電力広域的運営推進機関によると、データセンターや半導体工場の新增設に伴う需要電力量は2033年度までに407億kWh増加し、電力需要全体では増加の見通しに転じました（出典：全国及び供給区域ごとの需要想定（2024年度）、2024年1月24日公表）。

このような状況下、当社は電力会社に対して、AI技術や数値最適化技術を用いた電力需給計画の最適化を提供し、電力会社のエネルギー消費量の削減を実現してまいりました。また、配船計画、生産計画、空調熱源制御等の最適化も提供しており、AIエンジン開発、システム開発、運用・サポートまで一貫したサービスとして展開してまいりました。これまでの計画業務は、オペレーションを熟知した熟練人材による多大な労力により成立してまいりましたが、AI技術や数値最適手法を用いた当社の計画最適化サービスは、複雑かつ不確実性の高いビジネス環境下でも短時間で最適な計画を提供し、属人性を排することを可能としており、当社の事業に対する期待は一層高まっております。

当第1四半期累計期間は、引き続き電力・エネルギー、物流・サプライチェーン、都市交通・スマートシティの3分野に注力いたしました。予算規模が大きい電力会社からの追加受注や本番導入開発が進展し、電力・エネルギー分野の売上が全体の5割程度を占めることとなりました。物流・サプライチェーン分野についても、配船計画における追加受注や本番導入開発の進展により全体の4割近くを占める売上となりました。また、都市交通・スマートシティについても、鉄道会社からの追加受注があり、堅調に推移しました。

当社は、AIエンジン及びシステム開発をフロー型売上、運用・サポートをストック型売上として定義しておりますが、当第1四半期累計期間の電力・エネルギー分野の合計売上高は228百万円（前年同四半期比203.9%増）、うちフロー型売上は188百万円（前年同四半期比295.1%増）でストック型売上は39百万円（前年同四半期比45.5%増）、物流・サプライチェーン分野の合計売上高は175百万円（前年同四半期比48.6%増）、うちフロー型売上は108百万円（前年同四半期比51.3%増）でストック型売上は66百万円（前年同四半期比44.4%増）、都市交通・スマートシティ分野の合計売上高は39百万円（前年同四半期比29.8%増）、うちフロー型売上は22百万円（前年同四半期比6.2%増）でストック型売上は16百万円（前年同四半期比83.7%増）、社会インフラ3分野に分類されないその他の合計売上高は4百万円（前年同四半期比273.9%増）となりました。

また、当社は開発体制の強化に向けて優秀なエンジニアの採用を行うことで今後の事業拡大に向けた取り組みを進めており、当第1四半期会計期間末におけるエンジニアは72名（前年同四半期比14.3%増）となりました。加えて、営業体制の強化も進めており、営業・管理部門は34名（前年同四半期比47.8%増）となりました。このことから、製造費用におけるエンジニアの人件費は183百万円（前年同四半期比20.4%増）、販管費における営業・管理部門の人件費は104百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

以上より、当第1四半期累計期間について、売上高は448百万円（前年同四半期比99.2%増）となり、営業利益39百万円（前年同四半期は営業損失93百万円）、経常利益39百万円（前年同四半期は経常損失114百万円）、四半期純利益24百万円（前年同四半期は四半期純損失120百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は4,025百万円となり、前事業年度末と比較して76百万円減少いたしました。流動資産は3,688百万円となり、57百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が75百万円、その他に含まれる前払費用が15百万円それぞれ増加した一方で、売掛金及び契約資産が150百万円減少したことによるものであります。固定資産は336百万円となり、18百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が14百万円減少したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債は361百万円となり、前事業年度末と比較して101百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が19百万円、長期借入金が19百万円、その他に含まれる契約負債が28百万円、預り金が15百万円、未払消費税等が12百万円それぞれ減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は3,663百万円となり、前事業年度末と比較して25百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が24百万円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、2024年8月14日に公表いたしました「2024年6月期決算短信」に記載した内容から変更はございません。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、2025年6月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、売上高、営業利益ともに堅調に推移する見込みとなっております。当期も、電力・エネルギー分野を中心に第4四半期にかけて売上が増加する一方、開発体制及び営業体制強化に向けた積極的な増員については通期で行う予定です。したがって、期中においては営業利益率が一時的に通期の計画水準を下回る想定となっております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,900,488	2,975,910
売掛金及び契約資産	786,175	635,579
その他	60,042	77,364
流動資産合計	3,746,706	3,688,855
固定資産		
有形固定資産	8,439	9,102
無形固定資産	126,151	123,251
投資その他の資産	220,221	203,886
固定資産合計	354,813	336,239
資産合計	4,101,519	4,025,095
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	65,810	52,450
賞与引当金	48,434	28,748
その他	343,106	280,308
流動負債合計	457,350	361,507
固定負債		
長期借入金	5,820	—
固定負債合計	5,820	—
負債合計	463,170	361,507
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	52,103	52,459
資本剰余金	3,510,895	3,511,250
利益剰余金	74,012	98,652
自己株式	△179	△276
株主資本合計	3,636,832	3,662,085
新株予約権	1,516	1,501
純資産合計	3,638,348	3,663,587
負債純資産合計	4,101,519	4,025,095

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	225,052	448,338
売上原価	94,779	133,520
売上総利益	130,273	314,818
販売費及び一般管理費	223,780	275,410
営業利益又は営業損失(△)	△93,506	39,407
営業外収益		
受取利息	130	420
物品売却益	57	225
講演料等収入	245	—
業務受託手数料	502	90
その他	107	87
営業外収益合計	1,042	823
営業外費用		
支払利息	220	206
上場関連費用	21,667	—
補修費用	92	128
営業外費用合計	21,980	334
経常利益又は経常損失(△)	△114,444	39,896
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△114,444	39,896
法人税、住民税及び事業税	572	572
法人税等調整額	5,455	14,684
法人税等合計	6,028	15,257
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△120,472	24,639

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、AI開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	10,064千円	11,782千円